

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育実習指導Ⅱ Study of Practical Training of Nursing Ⅱ		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	中津 愛子・鄭 暁琳	
概要				
保育実習Ⅰでの学びを深め、保育士としての実践力を養うために、子ども理解、指導計画の立案、保育実践について演習形式で授業を行う。				
到達目標				
(1) 保育実習Ⅰを踏まえた実習の意義と目的を理解し、すでに学んだ教科の内容と関連付けて、子どもの発達に応じた保育内容を考え、指導案を作成することができる。 (2) 保育の知識、技術をいかした保育実践の力を習得する。 (3) 保育観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、考えを述べることができる。 (4) 保育士の専門性と職業倫理について説明できる。 (5) 実習事後指導を通して、保育に関する新たな課題を見出すことができる。				
授業内容とすすめ方				
1 実習の意義と目的、実習概要の説明、保育所実習の手続き 2 子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解 3 子どもの保育と保護者支援、実習日誌の書き方、実習生プロフィールの記入 4 子どもの状態に応じた適切な関わり 5 保育の知識・技術を活かした保育実践 6 保育の全体計画に基づく具体的なねらいと内容の設定・指導計画の立案 7 環境構成、保育教材の作成 8 模擬保育の実践 ―集団と個に応じた保育者の援助の検討― 9 模擬保育の実践 ―導入、展開、まとめの工夫― 10 保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善、実習に関する連絡・手続き 11 実習先に提出する書類の確認・日誌の確認 12 実習にあたって（各自のねらいの明確化）、実習に関する諸連絡 13 実習事前調査、実習の手続き確認 14 保育士の専門性と職業倫理 15 保育実習Ⅱを終えて（実習の総括・自己評価・新たな課題の明確化）				
テキストおよび 参考文献	テキストとして配布：「保育（保育所・施設）実習の手引き」山口短期大学			
メッセージ な	・保育実習の事前事後指導にあたる科目であり、2019年8月に保育実習Ⅱを受ける学生は必ず受講しなければならない。 ・提出物の期限が守られない場合、実習を受けられなくなるので注意すること ・保育士証：選択必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 保育実習 I を踏まえた実習の意義と目的を理解し、すでに学んだ教科の内容と関連付けて、子どもの発達に応じた保育内容を考え、指導案を作成することができる。	既習の教科と関連づけて、子どもの発達に応じた保育内容を自分で考え、指導案を作成することができる。	既習の教科と関連づけ、ほぼ子どもの発達に沿った保育内容を考え、指導案を作成することができる。	指導案の作成方法は理解できているが、作成した指導案は、子どもの発達に即していない。	子どもの発達に応じた保育内容を自分で考えることができず、指導案が作成できない。	指導案 (思考力・表現力)	30%
(2) 保育の知識、技術をいかした保育実践の力を習得する。	保育の知識・技術を活かした模擬保育が実践できる。	保育の知識、技術の基本をほぼ踏まえた模擬保育が実践できる。	保育の知識、技術には不足しているところがあるが、模擬保育は実践した。	模擬保育を実践していない。	模擬保育の実践力 (知識・技能・関心・意欲・態度)	30%
(3) 保育観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、考えを述べることができる。	保育観察、記録、自己評価をもとに保育の改善点を見出し、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	保育観察、記録、自己評価を総合し、改善点を見出そうと努力したことを述べることができる。	保育観察、記録、自己評価をもとに、部分的には改善点を見出すことができ、それを述べるができる。	保育観察、記録、自己評価をもとに改善点を見出すことができず、レポートが提出されない。	模擬保育実践後のレポート (思考力・判断力・表現力)	10%
(4) 保育士の専門性と職業倫理について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる	説明できていない。	課題レポート (知識・理解)	10%
(5) 実習事後指導を通して、保育に関する新たな課題を見出すことができる。	事後指導をもとに、自分で新たな課題を見出し、レポートにまとめることができる。	事後指導をもとに、ほぼ一人で今後の課題を見出し、レポートにまとめることができる。	今後の課題を見出すために、他者のアドバイスをもらえば、レポートにまとめることができる。	自分の今後の課題が見いだせず、レポートが提出されない。	実習事後レポート (意欲・思考力・判断力)	20%